

報 告 書

土木警察常任委員会は、令和7年6月26日（木）に、県内視察調査を実施しましたので、その概要を別紙のとおり報告します。

令和7年7月24日

福井県議会議長
宮 本 俊 様

土木警察常任委員会
委員長 兼 井 大

土木警察常任委員会 視察調査 概要

1 視察年月日 令和7年6月26日(木)

日程は別紙のとおり

2 出席者 別紙のとおり

3 視察内容

(1) 一般国道158号(大野市上半原)

[9:15 ~ 9:55]

あいさつの後、現場にて説明を受け、質疑応答を行った。

(質疑概要は別紙のとおり)

○あいさつ

福井県土木部長 平林透

○現地視察

説明：奥越土木事務所長 鳥山公裕

司会：土木部道路保全課長 向川泰弘

(2) 中部縦貫自動車道大野油坂道路

新子馬巣谷橋工事現場 [10:10 ~ 10:40]

あいさつの後、現場にて説明を受け、質疑応答を行った。

(質疑概要は別紙のとおり)

○あいさつ

国土交通省近畿地方整備局

福井河川国道事務所長 野村 文彦

○現地視察

説明：福井河川国道事務所長 野村 文彦

土木警察常任委員会 県内視察調査日程表

実施日 令和7年6月26日(木)

時 間	行 程
7 : 4 0	議事堂 発 (バス)
8 : 2 5 8 : 3 5	道の駅 越前おおの荒島の郷 (所在地) 福井県大野市蕨生 1 3 7 - 2 1 - 1 ※休憩 : 1 0 分
9 : 1 5 9 : 5 5	一般国道 158 号 (大野市上半原地係) (説明会場) 斜面崩壊箇所 仮設道路工事現場 (所在地) 大野市上半原 ○あいさつ ○概要説明 「仮設道路工事の進捗状況等について」 ○質疑応答
1 0 : 1 0 1 0 : 4 0	中部縦貫自動車道 大野油坂道路 (説明会場) 新子馬巣谷橋 (所在地) 大野市箱ヶ瀬 ○あいさつ ○概要説明 「大野油坂道路事業の進捗状況等について」 ○質疑応答
1 1 : 1 5 1 1 : 2 5	道の駅 越前おおの荒島の郷 (所在地) 福井県大野市蕨生 1 3 7 - 2 1 - 1 ※休憩 : 1 0 分
1 2 : 1 5	議事堂 着 (解散)

土木警察常任委員会 県内視察調査出席者名簿

【派遣委員】

委員長	兼井 大	2期
副委員長	時田 和一良	1期
委員	小堀 友廣	3期
//	野田 哲生	2期
//	山浦 光一郎	2期
//	大和 久米登	1期
//	山岸 みつる	1期

(委員 計7名)

【地係議員】

大野市選挙区	山岸 猛夫	7期
--------	-------	----

【地係以外の議員】

三宅 わたる	1期
中西 昭雄	1期
南川 直人	1期
三田村 輝士	1期
松崎 雄城	2期
力野 豊	3期
宮本 俊	4期
細川 かをり	4期

(議員 計9名)

【議会局】

議事調査課	主任	青木 千香
//	企画主査	高橋 康代
//	主任秘書	大壁 寛司

土木警察常任委員会 県内視察 質疑概要等

1 一般国道158号 大野市上半原

斜面崩落および迂回道路の整備状況について

I 説明概要（現地視察含む）

○斜面崩落と復旧工事について

- ・ 2月16日に1回目の崩壊があり片側交互通行をしていたが、3月18日にも崩れがあったため全面通行止めとした。3月19日の早朝に大崩落が発生したが通行止めをしていたため人的被害はなかった。
- ・ 現場は、九頭竜川の上流で当時は河川が埋没するほどであり、全長90メートル、高さ100メートルという大規模な崩壊だった。
- ・ 3月28日に専門家を交えた対策委員会を開き、崩壊現場の地形は窪地で水が集まりやすく、当時は例年の1.5倍である1.7メートルの積雪があったため、融雪水が影響して崩落につながったことが原因であると確認されている。
- ・ 斜面は安定していないため、ボーリング調査など詳細な調査を行い、対策を検討している。
- ・ 迂回路は、早急に通すことを一番に考えて工法を検討した。1号橋は、対岸に渡ることができない状態から速やかに着手しなければならないため、杭を打ってふたをかけ前に進む工法、2号橋は両側から下部工を施工し上部工を架ける工法、真ん中は盛土でつなげていく。1号橋はほぼ完成、2号橋は現在下部工が完成し、上部工を施工している状態である。
- ・ 今のところ、完成の時期を明言できないが、もう少し工事が進めば完成時期がみえてくる。
- ・ 県のホームページで工事の進捗状況を公表している。

II 質疑応答

- 議員 迂回路の完成はいつごろか。
- 土木部長 夏休み前を目指している。なるべく早くできるように取り組んでいる。夏休み前にまったく間に合わないということはない。

- 議 員 崩壊により電柱が倒れたが、電力は復旧しているのか。
○奥越土木事務所長 北陸電力の電柱は何本かあったが、倒れた場所を飛ばす形で復旧している。
- 議 員 本線復旧は、いつごろになりそうか。
○奥越土木事務所長 現在ボーリング調査が終わった段階で工法がまだ決まっていないのでいつとは言えない。
- 土木部長 調査をすると工法が決まる。災害査定を受け、災害復旧工事を行うことになるが、工法によりどれくらいかかるかがわかる。まずは、しっかりとした仮設道路が必要で、2車線の仮設道路となっている。
- 議 員 崩壊が起きた近くに迂回路を作っているが、再び崩壊が起きた場合も大丈夫か。
○奥越土木事務所長 崩壊が起きても土砂が届かない場所に迂回路を作っている。
- 委 員 他のさらなる崩壊とか、似たような地形地質で危ないところも調査・検討しているのか。
○土木部長 これまでも調査はしていた。今回、融雪という雪の影響を受けており、再度災害による人的被害がないようやっていく。本現場はセンサーを設置しており、他の現場も確認をやっていく。
- 議 員 仮設道路は国の災害査定を受けているのか。
○土木部長 事前協議をして了解を得ている。普通の仮設道路は、信号処理をして1車線のところが多いが、緊急輸送道路でもあり、2車線で認めていただいている。

(※現場を視察しながら行った質疑については省略)

2 中部縦貫自動車道大野油坂道路

新子馬巢谷橋

I 説明概要（現地視察含む）

○工事の状況

- ・ 中部縦貫自動車道大野油坂道路（九頭竜・油坂区間）は、トンネル6本のうち5本が貫通、橋は20橋で橋台・橋脚は9割程度できている。橋の上部分の進捗はさまざまだが、今が最盛期である。
- ・ 現時点で工程に一番影響があるのは、今回の視察現場である新子馬巢谷橋である。視察現場の九頭竜川をはさんで向かい側のP2橋脚はできているが、P1橋脚は、地盤が緩んでいるので遅れている。
- ・ P1橋脚では通常、掘削すると沈下するはずのケーソンが沈下しない状態であり、原因は、蛇紋岩と呼ばれる現場周辺の珍しい土質によるものである。
- ・ 掘削中に水や空気が入ると土が動き、横に働く力が強くなるため、ケーソンが沈下しない。
- ・ 横からの圧力を抑えるため、橋脚の手前に直径1.2メートル深さ約50メートルの杭を打つ追加工事を行うことで、理論上は、土の動きが止まり、ケーソンが下がる見込みである。

II 質疑応答

- | | |
|-------------|--|
| ○議 員 | 長さ50メートルの杭をどのように設置するのか。 |
| ○福井河川国道事務所長 | 4分割して10メートルずつクレーンで釣り、現場で溶接する。これだけ長い杭を打つ事例もあまりない。 |
| ○議 員 | 杭が横から押される可能性はないのか。 |
| ○福井河川国道事務所長 | 杭の直径は1.2メートルなので、土が影響する規模ではない。 |
| ○委 員 | 杭が沈下し続けることはないのか。 |
| ○福井河川国道事務所長 | 工事をすると水と空気が混じり、土が動いて問題が起きるが、50メートルより下はボーリング調査で固いことがわかっているので問題ない。 |

- 委員 蛇紋岩は基本的に硬くて水と空気が入ると緩むが、再び固くなることはあるのか。
- 福井河川国道事務所長 崩れると元に戻ることはない。

土木警察常任委員会 県内視察（一般国道 158 号）R070626

（一般国道 158 号 大野市上半原）



土木警察常任委員会 県内視察（中部縦貫自動車道大野油坂道路）R070626

しんしば すたにぼし
(新子馬巣谷橋)

